

様式の見方

令和4年度予算要求事業概要書

事業を担当する部署を記載しています。

要求事業一覧のNO.と一致します。

所管課	産業・地域振興支援部 産業振興課	NO	1
款	産業経済費	(単位：千円)	

1 事業名	中小企業DX促進支援事業		10 要求内容	要求額 ⇒ 予算額 (うち特財)
2 要求区分	新規事業		・ソフトウェア等導入費補助金 (30万円×100件 ⇒ 30万円×200件)	30,000 ⇒ 60,000
3 事業説明文	区内事業者のデジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進し、生産性向上や経営の効率化を実現するため、中小事業者がデジタル化を推進するための経費の一部を補助します。		・デジタル技術導入促進補助金 (100万円×30件 ⇒ 100万円×30件)	30,000 ⇒ 30,000
4 背景、区民ニーズ、現状課題等	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による新しい生活様式の浸透や、デジタル関連法の成立など社会全体のデジタル化への動きに伴い、ビジネス環境におけるDX推進の必要性も高まっています。経済産業省の調査では、調査対象500社のうち9割以上が満足にDXを実現できていないことから、区内中小企業者における生産性向上や経営の効率化に向けDX導入を支援していく必要があります。		・DX巡回相談員	0 ⇒ 2,640
5 要求する事業内容	新規事業の実施やレベルアップ(拡充)する内容を記載しています。		合計	60,000 ⇒ 92,640
区内中小事業者における業務効率化等につながるソフトウェア等のデジタル技術導入に要する経費の一部を補助します。 【対象者】 区内中小事業者 【実施時期】 令和4年4月～令和5年3月 【実施手法】	事業内容	ソフトウェア等導入費補助金	国庫支出金	特定財源(国や都の補助金など)の金額を記載しています。
	対象者	100社	都支出金	
	対象経費	業務のデジタル化に伴うソフトウェア導入等	その他特財	
	補助率 補助上限	2/3(上限30万円)	一般財源	
		デジタル技術導入促進補助金	債務負担行為	令和 年 ~ 年 限度額
		RPA等の生産性向上への国補助(1/2、上限450万円等)へ上乗せ	11 実施に向けた財源確保	特定財源なし
		国補助を除く1/2(上限100万円)	12 スケジュール	令和4年4月 ソフトウェア等導入補助金 募集開始 6月 デジタル技術導入促進補助金 国補助の実施状況確認 6月 デジタル技術導入促進補助金 募集開始
6 事業実施で得られる成果	業務効率化等につながる社内システムやRPAなどの自動化ツールの導入等のDX推進により生産性が向上することで、区内中小事業者の経営を支援することができます。		事業実施に伴う将来コスト	92,640千円(特定財源なし)/年
7 国・都・特別区等の動向や取組状況	新規事業の実施やレベルアップ(拡充)による区民生活等への効果を記載しています。		14 編成の考え方	新規事業の実施やレベルアップ(拡充)による将来コストを記載しています。
国：IT導入補助金(経済産業省)、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(中小企業庁) 特別区等：IT・IoT導入チャレンジ支援事業(北区)、その他川口市、平塚市など				
8 基本計画・個別計画	港区基本計画(最先端技術を活用した事業展開支援)、港区産業振興プラン			
9 関連する法令・条例等	なし			
			区内中小事業者のDXを推進し、事業者の業務の効率化や生産性の向上が進むことで区内事業者の経営を支援することが可能となることから、区内中小企業数や景況調査結果等を参考に申請件数を拡充するとともに、DX推進による効果や区の支援策などの情報を区自ら直接届けるためのDX巡回相談員に要する経費を追加した上で、予算を計上します。	
			事業の効果、効率性、財政負担、事務事業評価の結果を踏まえた予算編成の考え方を記載します。	

経費の内訳を記載しています。

最終的な予算計上額を記載します。

特定財源(国や都の補助金など)の金額を記載しています。

新規事業の実施やレベルアップ(拡充)のために確保できる財源を記載しています。

新規事業の実施やレベルアップ(拡充)による将来コストを記載しています。